

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	・詩『ふしぎ』	・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
	・説明的文章『自分の脳を知っていますか』	・説明的文章の構成に着目し、展開を捉えて文章を読むことができる。
	・物語『ベンチ』	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写をとらえることができる。
	・漢字の学習	・漢字の読み書きを自分なりの工夫を凝らして練習し、小テストにおいてその成果を出すことができる。
	作文 「課題作文に取り組む」	・構成を考えながら作文メモを作成する。 ・原稿用紙の使い方を復習し、作文を書く。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適度に使おうとしている。	・定期テスト ・文法 ・漢字小テスト ・暗唱テスト
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・スピーチ ・文章の読解 ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	・言葉を通じて積極的に人と関わり合ったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	・学習用具の準備 ・授業態度 ・発表 ・提出物の取り組み状況 ・日常の学習状況 ・漢字小テスト

4 使用する副読本

題名	出版社
単元別漢字 つまづかない！文法の学習	秀学社 学宝社

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	・詩『虹の足』	・詩歌の構成に着目し、多様な表現技法を捉えて詩の内容を読むことができる。
	・小説『タオル』	・作家、重松清の人間関係にかかわる内容にふれることにより、作品の温かさや人情味に触れることができる。
	・説明文『水の山富士山』	・書かれてある内容を理解するとともに、文章の構成や文章の展開や各段落の内容確認と段落ごとの要旨のまとめに取り組むことができる。
	・小説『夏の葬列』	・登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈するとともに、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。
	作文 「課題作文に取り組む」	・構成を考えながら作文メモを作成する。 ・原稿用紙の使い方を復習し、作文を書く。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適度に使おうとしている。	・定期テスト ・文法 ・漢字小テスト ・古文 ・暗唱テスト
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会における関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりしている。	・定期テスト ・スピーチ ・文章の読解 ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	・言葉を通じて積極的に人と関わり合ったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	・学習用具の準備 ・授業態度 ・発表 ・提出物の取り組み状況 ・日常の学習状況

4 使用する副読本

題名	出版社
国語の学習2 図解で！わかる文法 単元別漢字2	明治図書 学宝社 秀学社

令和5年度和名ヶ谷中学校 1学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

- ◆多くの文章を読むことで、他者の考えをより深く理解する力と、自分の考えを的確に表現する力を養い、言語によるコミュニケーションの質の向上を目指す。
- ◆語彙を増やすことで、自分の考えを表現することへのモチベーションを高める。

2 学習計画

学習内容・教材	学習のねらい
詩 「春に」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩（特に隠喩）が表現している内容を捉えることで、詩全体が訴えかけていることを想像し、楽しむ。
随筆 「立ってくる春」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随筆というジャンルの特徴を理解する。 ・ 筆者の独自の表現に着目し、何を、なぜ、どのように感じたのかを正確に読み取る。 ・ 筆者の考えに対する自分の考えを構築する。
俳句 「俳句の味わい」 「俳句十五句」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の意味を掘り起こして読む。 ・ 表現技法を理解する。
言語 「文法」 助詞・助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助詞の働きと見分け方 ・ 助動詞の働きと見分け方
論説文 「async-同期しないこと」 「問いかける言葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの文章を精読し、どのような立場から、何を根拠に、どのような主張しているかを読み取る方法を知る。 ・ 筆者独自の考えに対して、自分の考えを文章にまとめ、交流し考えの幅を広げる。
作文 「課題作文に取り組む」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成を考えながら作文メモを作成する。 ・ 原稿用紙の使い方を復習し、作文を書く。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定準2級の漢字の音、形、意味を理解し使っている。 語彙を増やし、自分の文章表現の際に使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト(漢字・文法・語句・古文・漢文) 単元テスト(感じ・文法・語句・古文・漢文) 漢字小テスト 古文暗唱
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと(スピーチ)、書くこと(作文)において、聴衆や読者を意識して、より自分の考えや思いが伝わるよう構成、表現を工夫している。 読むこと(文章読解)、聞くこと(聞き取り)においては、問いに対する答えを、文章、放送の語句を根拠にして判断し答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト(文章読解・作文) 単元テスト(文章読解) スピーチ 作文 聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 言語で表現されたさまざまな考えに興味を持ち、他の考えを積極的に吸収しようとしている。 学習を振り返ることで、自身の語感を豊かにしようとしたり、知り得た知識を生活に結び付けようとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に対する意欲 古文暗唱 漢字練習 授業のワークシート(人物関連図作成、論理展開の図式化)等

4 使用する副読本

題名	出版社
ステップ別常用漢字	浜島書店
国語便覧(千葉県版)	浜島書店*購入済み
学習の達成	浜島書店
すらすら国文法	新学社*購入済み
リハーサル4(千葉県入試直前対策)	浜島書店